



碧南ロータリークラブ週報

第2652回例会 平成25年8月21日(水)

- 会長 長田 豊治
- 幹事 岡本 明弘
- 会場監督(SAA) 角谷 信二

2013-2014 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp

- 会報委員 鈴木泰博・奥津順司・杉浦栄次



● 斉 唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテスト唱和

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

尾張中央RC 幹事 平岩 慎次君
書道家 鈴木 博様

会 長 挨 拶

2週間のご無沙汰でございました。いつになく暑いお盆でございましたが、ご案内のように、我が碧南ロータリークラブにとって大切な方を何人かお送り致しました。ご冥福をお祈り申し上げます。

さて、8月18日の日曜日には藤井達吉翁の50回忌法要で鶏頭忌を務めました。山中寛三先生始め多くの方にご参列を頂き、ありがとうございました。また、妙福寺さんには大変お世話になりました。

昨日は、藤井達吉先生のお墓のある、藤沢市の時宗総本山遊行寺にて50回忌法要に参加して参りました。新東名を走って4時間以上かかりました。会食後、小田原からこだまで名古屋マリオットアソシアホテルにて開催された、神戸峰男先生芸術院会員就任祝賀会に碧南ロータリークラブ会長として参加して参りました。50周年記念事業で寄贈した、藤井達吉現代美術館のホールにある藤井達吉翁像の作者です。

この2週間は忙しい中、人の縁を深く感じた日々でございました。まだまだ残暑が続きます。皆様にはご自愛頂きますよう、お祈り申し上げます。



長田豊治会長

幹 事 報 告

本日は4点ほどございます。

- ・ 第2回理事会報告と、例会変更等は幹事報告書の通りでございます。
- ・ ガバナー補佐訪問が9月25日水曜日にございます。案内を役員、理事、委員長さんのメールボックスに入れさせていただきました。当日は、17時30分から会長幹事の懇談会をさせて頂き、その後例会、クラブ協議会というようなスケジュールになっております。委員長さんにはクラブ協議会の中で事業計画を発表して頂きますので、よろしくお願い致します。委員長さんが出席できない場合は、副委員長さんへの代理出席して頂く手配の方をお願い致します。
- ・ 地区大会が11月24日の日曜日にございます。地区大会のご登録、ありがとうございます。21名の登録をさせて頂きました。当日の交通手段、碧南へ帰ってからの懇親会は後日ご連絡させて頂きますので、よろしくお願い致します。
- ・ ガバナー事務所より、2014年の6月1日からのシドニー国際大会の案内と、シドニーでの田中ガバナーを囲む夕食会のご案内が届いております。詳細は、後日国際奉仕委員さんからご連絡があると思いますので、よろしくお願い致します。



岡本明弘幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 66 名 (内出席免除者 9 名の内出席者 8 名)出席者 55 名	
出席対象者 55/65 名	出席率 84.62%
欠席者 11 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

平岩 慎次君 (尾張中央RC)

長田会長・岡本幹事さんの激励に、父平岩安治の会葬のお礼にまいりました。

長田 豊治君

我が女房の同級生 平岩慎次さんのご来訪を歓迎いたします。

8月18日に藤井達吉翁50回忌法要 鶏頭忌を妙福寺さんで90名余のご参加を頂き、無事に終了いたしました。皆様のご協力に感謝いたします。

山中 寛三君

皆出席賞有難うございました。

加藤 良邦君

①猛暑のお盆 お陰様にて無事に終わりました。

②8/18鶏頭忌 藤井達吉翁50回忌長田会長 皆様お陰にてつとめさ

せて頂きました

③久しぶりに出席出来ました。感謝です！

平岩統一郎君 }
平岩 辰之君 }

過日はご会葬有難うございました。

新美 宗和君

ついに30年目のカラオケと舞踊のコラボ「歌と舞の祭典」が25日(日)文化会館で開催されます。今年も盛大にやりますので、時間のある方はぜひ来場下さい。

竹中 誠君

碧南市臨海公園にて開催される「オイスカデー」のビラを配付させて頂きました。

山中 寛紀君

親をハラハラドキドキさせた末娘の公務員試験 最終的に本日合格発表があり、やっと胸のつかえが降りてホットしています。

榊原 健君

8/16、17、18日 3日間行われた碧南サマーカップ2013少年サッカー大会が無事終了致しました。今年は碧南のチームが決勝トーナメントに3チーム残りましたが優勝は新潟より参加したセレッソ桜ヶ丘に優勝をさらわれてしまいました。残念です。来年こそ！

角谷 修君

本日の講師「鈴木 博様」をご紹介します。

杉浦 栄次君

消防団の県操法大会が8月10日に無事に終わりました。結果は19位と今1つでしたが、多くの皆様に応援を頂き、ありがとうございました。

卓 話

「書について」 (財) 毎日書道会審査会員 鈴木博様



鈴木博様

本日はお招き頂きましてありがとうございます。

先ほど紹介して頂きましたが、まず私の立ち位置についてお話ししたいと思います。私の師匠は高浜のいの先生という方で、その師匠に戸田提山先生という方がおりますが、その戸田先生の研究会にも参加させて頂いております。独立書人団というのにも所属しておりますが、戸田先生の師匠の手島右卿先生が広められ、60年以上も続いております。

手島先生は、戦後、新しい表現で個展を立脚された方です。資料に、「崩壊」という作品がありますが、これは東京大空襲の様子を見て何とか表現したいと思い、完成された作品です。当時、サンパウロ・ビエンナーレ展に日本代表書家として初めて作品を出展しました。「通」「山」「崩壊」を出展し、第1回国際美術評論家連盟賞候補となったそうです。この時、連盟のペトロザ副会長が何かが崩れ落ちている感じがする、と言われたそうです。題名を見てみたら「崩壊」とあるので、なるほどと思われたそうです。その後、わざわざ日本へやって

きて、手島先生と話し、「崩壊」が文字を使って表現されているのを知り、大変驚かれたそうです。その時、ペトローザ副会長が「書は世界最高の芸術になり得る」とおっしゃったそうです。

家の中に女がいるから安心の「安」が出来たと言われます。実は、先祖の霊に安静とか安寧とかで祈る、という事から出来たそうです。うかんむりの屋根の部分は、先祖を祀る御霊屋の屋根の形からきているそうです。

「書」は「筆」と「者」を合わせた漢字と考えられておりますが、「書」は書写を通じてその人を見る、という事なのです。字を書くのに字道とは言いませんが、書道と言います。中国の人達は「書」を通して、最初から人格を見ようとしていたのではないかと思います。

ちなみに「字」はうかんむりの中に「子」が入っています。その理由は、子供が産まれてある程度経った時に御霊屋へ連れて行きまして、祖霊に報告するのだそうです。その時に字名（小字という）をつけるのですが、またある程度経ってからそこへ行き、やっと命名されるそうです。そのような経緯があり、「字」が生まれたそうです。

人格を見ている「書」と「字」の違いがお分かり頂けたと思います。

書はどうしても上手、下手と言われてしまいます。

蘭亭序というのがありますが、これは上手の最高峰といってもいいと思います。書聖といわれる王羲之が書かれた書で、唐の時代に禊を行い流觴曲水の宴の後、詩を作りました。これらの詩をひとまとめにして、その序文が蘭亭序です。歴代最高の書とされております。唐の太宗皇帝が王羲之の書を愛し、死んだ後も墓に入れろと命令したので、今でも墓に眠っております。

野口英世の母親の、野口シカさんの手紙があります。下手も半分を担っていますし、上手も半分を担っています。ただ、これは上手とか下手を通り越して、いるのではないかと思います。お子さんの書を見る機会もありますが、うまい子は段々お手本を見なくなります。下手な子はお手本と向き合っています。この気持ちが「誠」でとても大切ではないかと思います。野口シカさんの手紙は、自分の気持ちを自分の言葉で表現しており、「誠」のこもったすごい作品だと思い、紹介させて頂きました。

上手や下手というのは、器用か器用でないかだと思います。いかに気持ちをこめて書くか、いかに「誠」がこもるか、というのが一番大切だと思いました。

次回例会案内

平成25年9月4日（水）

クラブフォーラム「新世代奉仕委員会」